

第10回常任理事会報告

日 時 平成23年2月18日（金）午後3時～午後4時20分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、
江里口 彰、寺下正道、上西秀則、伊藤公一、
後藤滋巳、栗原英見、荒木孝二、佐々木啓一
<広報委員> 倉林 亨
第22回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 田中昭男
<事務局長> 諏訪文彦
欠席者 <副 会 長> 井出吉信
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞が述べられた。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 一般会務報告（平成 23 年 1 月 11 日～2 月 17 日）
- 第 9 回常任理事会報告（平成 23 年 1 月 11 日開催）

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

田中準備委員長より、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 第 22 回日本歯科医学会総会分科会プログラム申込状況

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 学会会計収支計算書
- 第 22 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書
（ともに平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

- ▶ 「歯科病院および病院における歯科の役割と採算性の調査」ならびに「脳卒中および頭頸部疾患等における歯科医療の関わりの実態調査」について
黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。
- ▶ 歯科診療ガイドライン・ライブラリーについて
黒崎総務理事および佐藤常任理事より、資料に基づき、報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

- ▶ 平成 22 年度経済産業省「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」に係る公募について
江藤会長より、資料に基づき、報告がなされた。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし

(4) 学会機構の改革

特になし

(5) 国際連携の推進

特になし

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし

5) 会長報告

江藤会長より、日歯役員会提出資料に基づき、①厚生労働大臣宛て「歯科医師需給に関する要望」、②厚労省「第4回チーム医療推進会議」、③日歯「平成23年度収支予算書」、④Tooth Fairyプロジェクト第2弾(案)、⑤日歯公開シンポジウム「口腔管理(口腔ケア)とインフルエンザ対策」、⑥日歯総研「病院でのチーム医療における歯科の係わりに関する調査」、⑦青森県歯「救急薬剤の合法的な購入に関する要望」、⑧日弁連「グループソックス洗口・塗布の中止を求める意見書」、について報告がなされた。

6) その他

▶中医協報告

住友副会長より、1月21日、2月2日および16日に開催された中央社会保険医療協議会総会について、資料に基づき、報告がなされた。

▶「偶発症」「合併症」用語の整理について

後藤常任理事より、資料に基づき説明がなされ、各用語に対する例示部分は各分科会に委ねた上で今後整理を行っていきたい旨報告がなされた。

▶ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈について

黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶独立行政法人日本学術振興会特別研究員の募集について

黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶歯科用麻酔薬「シタネストーオクタプレシン」について

江里口常任理事より、日本スポーツ歯科医学会からの情報提供について、資料に基づき、報告がなされた。

- ▶FDI・財)口腔保健協会 発行冊子「オーラルヘルスアトラス」について
江里口常任理事より、書籍発行の紹介がなされた。

全体の一括質疑応答として、

- 江里口常任理事より、「Tooth Fairy プロジェクト」についての補足説明ならびに各方面に協力をお願いしたい旨、発言がなされた。
- 住友副会長より、歯科用麻酔薬「シタネストーオクタプレシン」について、デンツプライ三金(株)からの情報提供がなされていないか質したところ、江里口常任理事より、現状ではまだ確認できていない旨回答。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶平成 23 年度プロジェクト研究テーマについて

佐藤常任理事より、標記研究テーマ案を各分科会並びに日本歯科医師会に公募したところ、計 39 題の応募があった旨資料に基づき報告後、テーマの選定について諮られた。

協議の結果、学会、関係役員及び学術研究委員会正副委員長による学術研究事業打合せ内で選定作業を行うことを決定した。

▶ ICD-10 の一部改正への対応について

後藤常任理事より、厚労省 ICD 室より ICD-10 改訂に対する意見だしの依頼があった旨報告がなされ、江藤会長と岡野理事で対応を協議したところ、提出期限の 2 月末までに、岡野理事と日本口腔科学会の関係者で問題点を整理した上で、歯科学術用語委員会で検討を行い、厚労省へ回答したい旨諮られ、承認された。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし

(4) 学会機構の改革

特になし

(5) 国際連携の推進

特になし

(6) 歯科医学未来構想の構築

▶ 歯科医学研究所構想検討協議会答申の取り扱いについて

江藤会長より、標記について諮られ、アンケート調査報告書の結果を精査し、歯科界全体の意見として保持したい旨発言。全会承認された。

2) 事業計画の推進

(1) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、貸与することを全会了承された。

(2) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、役員を派遣することとし、全会了承された。

3) その他

全体の一括質疑応答として

○佐々木常任理事より、FDI・財)口腔保健協会 発行冊子「オーラルヘルスアトラス」について、日本に関する記述が抜け落ちているので、改訂等の際には追加する等、注意してほしい旨要望。

○次期診療報酬改定に向けて、インプラント義歯（先進医療）の保険導入等について意見交換がなされた。

○住友副会長より、フッ素に係る日弁連意見書への対応に関連して、厚労省等から各学会へ依頼があった場合は本学会に情報を提供して欲しい旨要望。

5. 閉 会

黒崎総務理事より、閉会の辞が述べられた。